

令和5年度 事業報告

(自令和5年1月1日 至令和5年12月31日)

一般財団法人日本ボクシングコミッション

令和5年度事業報告書

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

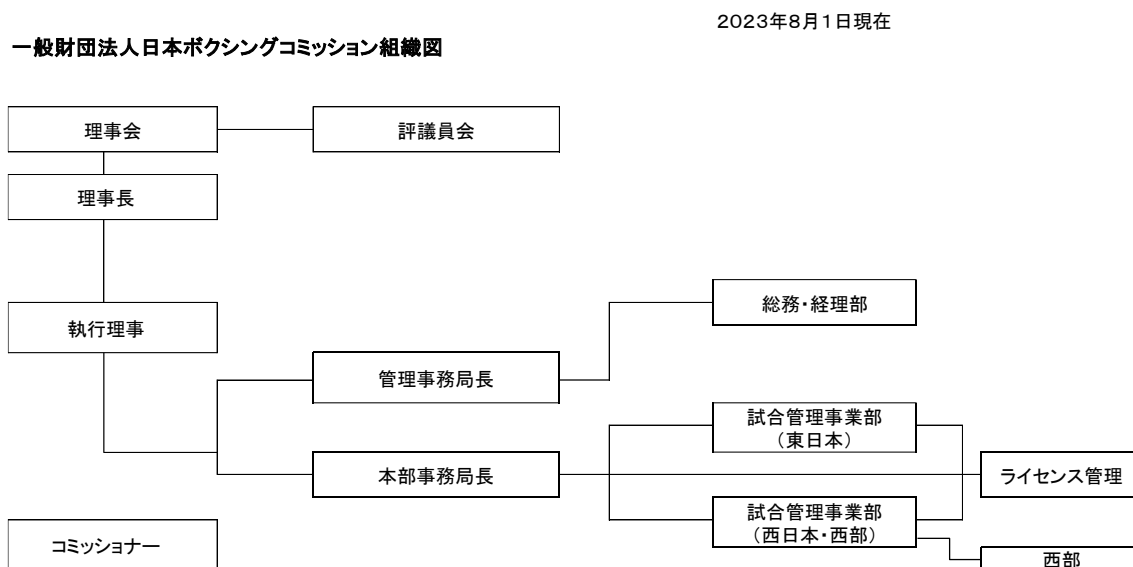
1. 概要

令和5年の一般財団法人日本ボクシングコミッションは(以下、JBC)、令和4年3月の解散、清算、5月末からの継続を得て、新型コロナウイルスの影響も薄れ、試合数の増加等により、経営面では比較的安定した運営を行った。

4月から執行理事が成富毅氏から安河内剛氏に変わり、また新たに財団内で部門名を変更し、前述の安河内氏が特命担当事務局長から本部事務局長、成富氏が事務局長から管理事務局長、更に5月から人事異動で成富氏から吉岡昭彦氏が管理事務局長に就任した。長岡勤前コミッショナーは令和4年12月31日付でコミッショナーを退任し、令和5年1月より萩原実理事長がコミッショナーとなった。

また8月に試合管理事業部の関西事務局で管理していた西部地区担当として新たに小池氏と業務委託契約をした。

【現在の組織図】



理事会・評議会開催：

議案

2月28日理事会

- ①令和4年決算報告
- ②令和4年事業報告
- ③制裁規定及び資格審査委員会規則改訂
- ④倫理委員会委員選任の件

3月8日評議員会（書面決議）

- ①令和4年決算報告
- ②令和4年事業報告

3月30日臨時理事会

- ①理事選任を評議員会に提案する件（安河内）
- ②本部事務局長に選任する件（安河内）
- ③管理事務局長に選任する件（吉岡）

3月31日評議員会（書面決議）

- ①理事選任の件（安河内）

4月10日臨時理事会（書面決議）

- ①理事選任の件（安河内）

4月24日臨時理事会（書面決議）

- ①制裁規定、倫理委員会規定改定

7月19日臨時理事会（書面決議）

- ①年齢制限撤廃の件

7月19日臨時理事会

- ①トランス男性のプロテスト受験について
- ②亀田プロモーション主催 2022年8月14日開催興行に係る件（報告事項）

9月6日理事会

- ①令和5年度上期会計報告の件
- ②令和5年度中間事業報告の件

12月27日理事会

- ①令和6年度事業計画の件
- ②令和6年度収支予算案承認の件
- ③当法人の内部規程新規制定等の件
「嘱託社員・パートタイム・アルバイト就業規則」
「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」

実行委員会：

日本プロボクシング協会との協力と連携体制を促進するために開催。

開催日：1月25日、2月28日、3月30日、4月26日、5月26日、
6月20日、7月7日、10月5日、31日、12月27日

2. 財務状況

今期はコロナの鎮静化により、試合数や世界戦などの大規模興行の増加による試合関係の収入増に加え、新たに表彰式での協賛等の収入などにより寄付金以外の収入が前年と比較して約 166 百万円から今期は約 199 百万円と約 20%増加した。これが主な要因となり、当期一般正味財産増減額が約 30 百万円のプラスとなった。その結果正味財産残高も前期終了時点約 17 百万円から約 47 百万円となった。

まだ安定しているとは言えないが、昨年の危機的な財務状況からはやや改善している。

3. 業務管理について

- ・ 5 月から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの 5 類移行に伴い、多岐にわたった感染防止対策を撤廃した。
- ・ ルール変更で MR I 受診が必要になる選手が増え、医療機関に早期受診できるよう協力病院を作った。

東日本：牧田総合病院、中日本：一里山・今井病院、

西日本：阪和記念病院、梅田脳脊髄神経クリニック

- ・ 西部地区レフェリー講習会

9 月 24 日福岡市にある北島ボクシングジムにて座学と実践を行った。試合出場機会の乏しい西部地区で技術の研鑽やモチベーションの低下をある程度防ぐことを目的に実施。10 月も実施。

4. 試合管理に関して

(1) 2023 年度ボクシング興行件数

173 興行の試合管理を行った。

興行数					
地区	2023年	2022年	前年比率	2021年	2020年
東京	97	97	100%	89	57
中部	17	15	113%	15	9
関西	55	50	110%	37	18
西部	10	11	91%	6	6
合計	179	173	103%	147	90

* 2023 年度は前年比 6 興行増となった。

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、4,088名。

●ライセンス発行数

単位：人

種別	2023年	2022年	差
ボクサー	2,178	1,971	207
男子	2,032	1,829	203
女子	146	142	4
プロモーター	65	62	3
クラブオーナー	263	262	1
マネージャー	449	409	40
トレーナー	486	457	29
セコンド	416	369	47
マッチメーカー	2	2	0
レフェリー	109	79	30
タイムキーパー	12	15	-3
アナウンサー	7	6	1
ドクター	91	82	9
進行	10	4	6
合計	4,088	3,718	370

●ボクサーライセンス取得者数 () 内は女子ボクサー 単位：人

	2023年	2022年	差
A級	602(43)	489(43)	113
B級	209(22)	226(16)	-17
C級	1367(81)	1256(83)	111
合計	2178(146)	1971(142)	207

(3) プロボクサー新人テストを実施した。

●受験者数

単位：人

地区	2023年	2022年	差
東京	379	384	-5
中部	66	68	-2
関西	169	166	3
西部	75	74	1
合計	689	692	-3

(4) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

5. 安全防護に関して

リング事故(急性硬膜下血腫受傷)

① 3月29日後楽園ホールにて開催された興行にて野澤大悟(DANGAN AOKI)選手がダウンした際に後頭部から落下し失神。牧田総合病院に救急搬送され、検査により脳に損傷があり入院。その後リハビリ病棟に移り、7月4日退院した。

② 5月9日後楽園ホールにて開催された興行にて鈴木尊虎(トナリ)選手がTKOされ、医務室に担架搬送。その後回復し、自力で帰宅途中気分が悪くなり、聖路加国際病院に救急搬送され、検査により急性硬膜下血腫で広尾病院へ転院。出血の広がりはなく翌日退院した。

③ 12月26日有明アリーナにて開催された興行にて穴ロ一輝(真正)が試合後意識を失い、牧田総合病院に搬送され、緊急開頭手術を行い、右硬膜下血腫と診断。2024年2月2日に同病院で死去。

6. ボクシング功労者の表彰について(2月22日)

2022年度年間優秀選手の発表と表彰状を進呈。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、開催を見合わせていたボクシング年間優秀選手表彰式を2020年以来3年ぶりに東京ドームホテルで開催した。

7. 広報普及活動について

(1) 令和5年4月1日ボクシング年鑑を発刊した。

(2) ホームページの活用
最新情報へ更新、掲載した。

8. 記録、資料について

選手記録(戦績、診断の記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。

9. その他

(1) ルールに関する告示

① 2月20日外国人ボクサーの招聘要件の緩和について

② 4月6日制裁規定及び資格審査委員会規則の改定

③ 4月26日制裁規定及び倫理委員会規定の改定

④ 7月19日トランス男子におけるプロテスト受験の可否について

⑤ 7月19日37歳定年制の廃止について

(2) 処分関係

2023 年は 20 案件 40 人が対象。内容は以下の通りである。

① ゼネシスカシミ・セルバニア選手（カシミジム：ボクサー）の件
（令和 5 年 1 月 11 日付）

令和 4 年 10 月 25 日の試合の前日計量において 0.6kg 体重超過し計量失格となった。

●ゼネシスカシミ・セルバニア選手を令和 4 年 10 月 24 日より 6 カ月のライセンス停止処分。

●森田亮平氏（カシミジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

② 越川孝紀選手（一カジム：ボクサー）の件（令和 5 年 1 月 11 日付）

令和 4 年 11 月 27 日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●越川孝紀選手を令和 4 年 11 月 26 日より 1 年間のライセンス停止処分。

●小林敏幸氏（一カジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

③ 永田裕真選手（筑豊ジム：ボクサー）の件（令和 5 年 1 月 11 日付）

令和 4 年 10 月 30 日の試合の前日計量において 1.3kg 体重超過。尚、試合当日の再計量後に試合は挙行。

●永田裕真選手を令和 4 年 10 月 29 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分

●白銀尊道氏（筑豊ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

④ 横内恒二選手（本望ボクシングジム：ボクサー）の件（令和 5 年 3 月 3 日付）

令和 5 年 2 月 10 日の試合の前日計量において 0.3kg 体重超過。尚、試合当日の再計量後に試合は挙行。

●横内恒二選手を令和 5 年 2 月 10 日より 6 カ月のライセンス停止処分。

●本望美香氏（本望ボクシングジム：マネージャー）を嚴重注意処分

⑤ 大内博貴選手（YuKo フィットネスジム＝以下 Yuko ジム：ボクサー）の件
（令和 5 年 4 月 19 日）

令和 5 年 4 月 9 日の試合の前日計量会場に連絡もなく現れず計量失格となった。

●大内博貴選手を令和 5 年 4 月 8 日より 1 年間のライセンス停止処分。

●北島元氏（Yuko ジム：クラブオーナー）を嚴重注意処分。

⑥ 樋口優太選手（福岡帝拳ジム：ボクサー）の件（令和 5 年 4 月 19 日付）

令和 5 年 4 月 9 日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●樋口優太選手を令和 5 年 4 月 8 日より 1 年間のライセンス停止処分。

●三角義隆氏（福岡帝拳ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

⑦ 望月崇吾選手（進光ボクシングジム＝以下進光ジム：ボクサー）の件
（令和 5 年 5 月 1 日付）

令和 5 年 4 月 29 日の試合の前日計量において 1.5kg 体重超過。尚、試合当日の再計量後に試合は挙行。

●望月崇吾選手を令和 5 年 4 月 28 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分。

●倉田稔氏（進光ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

⑧三角丞選手（宇部ボクシングフィットネススクールジム＝以下「宇部ジム」：ボクサー）の件（令和5年6月13日付）

令和5年6月11日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●三角丞選手を令和5年6月10日より1年間のライセンス停止処分

●原田修氏（宇部ジム：マネージャー）を嚴重注意処分

⑨粟生忠選手（神拳阪神ボクシングジム＝以下神拳阪神ジム：ボクサー）の件（令和5年6月13日付）

令和5年5月21日の試合の前日計量会場に現れず試合を棄権。

●粟生忠選手を令和5年5月20日より1年間のライセンス停止処分とする。

●山本秀人氏（神拳阪神ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

⑩秋山星也選手（名古屋大橋ボクシングジム＝以下名古屋大橋ジム：ボクサー）の件（令和5年6月19日付）

令和5年6月18日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●秋山星也選手を令和5年6月17日より1年間のライセンス停止処分。

●大橋彩恵氏（名古屋大橋ジム：マネージャー）を戒告処分。

⑪西野麒麟選手（黒潮ジム：ボクサー）の件（令和5年8月8日付）

令和5年7月17日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●西野麒麟選手を令和5年7月16日より1年間のライセンス停止処分。

●小松義継氏（黒潮ジム：マネージャー）を戒告処分。

⑫和田幸斗選手（フューチャージム：ボクサー）の件（令和5年8月21日付）

令和5年8月6日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●和田幸斗選手を令和5年8月5日より1年間のライセンス停止処分。

●植野正樹氏（フューチャージム：マネージャー）を戒告処分。

⑬高松翔太選手（冷研鶴崎ボクシングジム＝以下冷研鶴崎ジム：ボクサー）の件（令和5年9月4日付）

令和5年8月27日の試合の前日計量において1.4kg体重超過し計量失格となった。

●高松翔太選手を令和5年8月28日より6カ月のライセンス停止処分。

●古中賢次氏（冷研鶴崎ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

⑭愛楽バルボア選手（伴流ボクシングジム＝以下伴流ジム：ボクサー）の件（令和5年9月28日付）

令和5年9月27日の試合の前日計量において1.0kg体重超過し計量失格となった。

●愛楽バルボア選手を令和5年9月26日より6カ月のライセンス停止処分。

●団良美氏（伴流ジム：マネージャー）を嚴重注意処分。

⑮上江洲タケシ選手（足利ボクシングジム＝以下足利ジム：ボクサー）の件
（令和5年9月28日付）

令和5年9月25日の試合の前日計量において1.9kg体重超過し計量失格となった。

※2度目の体重超過

●上江洲タケシ選手を令和5年9月24日より1年間のライセンス停止処分。

●中島大介氏（足利ジム：マネージャー）を厳重注意処分。

⑯久郷舜平選手（天熊丸木ボクシングジム＝以下天熊丸木ジム：ボクサー）の件
（令和5年10月10日付）

令和5年10月8日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●久郷舜平選手を令和5年10月7日より1年間のライセンス停止処分。

●丸木孝雄氏（天熊丸木ジム：マネージャー）を戒告処分。

⑰大湾硫斗選手（志成ボクシングジム＝以下志成ジム：ボクサー）の件
（令和5年10月16日付）

令和5年10月13日の試合の前日計量において0.8kg体重超過し計量失格となった。

●大湾硫斗選手を令和5年10月12日より6カ月のライセンス停止処分。

●二宮雄介氏（志成ジム：マネージャー）を厳重注意処分。

⑱佐山万里菜選手（ワタナベボクシングジム＝以下ワタナベジム：ボクサー）の件
（令和5年11月7日付）

令和5年11月5日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●佐山万里菜選手を令和5年11月4日より1年間のライセンス停止処分。

●渡辺均氏（ワタナベジム：クラブオーナー・マネージャー）を戒告処分。

⑲福永輝選手（駿河男児ボクシングジム＝以下駿河男児ジム：ボクサー）の件
（令和5年11月7日付）

令和5年11月7日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●福永輝選手を令和5年11月6日より1年間のライセンス停止処分。

●林秀憲氏（駿河男児ジム：マネージャー）を戒告処分。

⑳木村吉光選手（志成ボクシングジム＝以下志成ジム：ボクサー）の件
（令和5年12月30日付）

令和5年12月31日の試合の前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合を棄権。

●木村吉光選手を令和5年12月30日より1年間のライセンス停止処分。

●二宮雄介氏（志成ジム：マネージャー）を戒告処分。

(3) JBC 対応中案件

① ドーピング問題対応について

- ・一昨年未実施した井岡一翔選手へのドーピング検査で微量の大麻成分を検出。微量であったため JBC ルール第 97 条違反に該当しないと判断したが、その他の規定違反を理由とする処分の可能性について倫理委員会の答申を得て JBC 内で検討中。
- ・上記に起因して明確なドーピング規定がないため現在規定を策定中。

② 札幌におけるナイジェリア選手の所謂「替え玉」問題について

- ・5 月 14 日に札幌（シャトレ・ゼガトーキングダムサッポロ）で開催された平仲ボクシングスクール主催興行に出場した 2 名の外国人選手が、試合後の調査で別人であったことが判明。この件につき、現在倫理委員会でプロモーターの処分を検討中。

10. 社会貢献事業について

- ・WBC ケアーズ 9 月 24 日福岡で実施。
マスタースボクシング、車いすボクシング等を試験実施。
- ・11 月 23 日荒川総合スポーツセンターで開催された白井義男氏生誕 100 年記念イベントに JBC が所有する白井氏の世界戦などで使用した物品を展示品として提供した。

以上